

# 盛岡みたけ支援学校奥中山校

## 研究テーマ

「仲間と共に、今を主体的に  
学習するための授業づくり  
～観点別目標設定と主体的・対話的で  
深い学びの視点を踏まえて～」  
(3年次研究の3年目)

### 1 テーマ設定の理由

今年度の取組は、「仲間と共に、今を主体的に学習するための授業づくり」をテーマとした3年次研究の3年目にあたる。1年次では、「自立活動の指導に焦点を当てて」を、2年次では、「単元のつながりを意識した授業づくり、授業改善を通して」をサブテーマとして定め、実践、研究に取り組んできた。2年次では、児童生徒一人ひとりの「育成を目指す資質・能力(＝目指す姿)」を中心に置いた授業作りを展開することで、単元間のつながりが生まれ、児童生徒主体の授業をつくることができた。課題としては、小学部では異なる単元でも目標が同じになってしまうことがあったこと、中学部では個々の長期目標と学部目標との整合性を検証することなど、目標設定に関することが共通していた。

そこで、3年次では学習指導要領の改訂も踏まえ、「知識及び技能」「思考力、判断力、表現力等」「学びに向かう力、人間性等」の観点別の目標設定と、その達成に向けた「主体的、対話的で深い学び」の視点に立った授業づくり、授業改善に取り組むこととした。

### 2 研究の目的

観点別目標設定と主体的、対話的で深い学びの視点を踏まえて、仲間と共に、今を主体的に学習するための授業づくり、授業改善を行う。

### 3 研究の内容

#### (1) 観点別目標設定

「知識及び技能」「思考力、判断力、表現力等」「学びに向かう力、人間性」の3観点による目標を設定し、研究日に各学部で共有した。小学部は主に、毎月体育または音楽の内容から1つ

の内容を取り上げ、各児童の目標を設定した。中学部は生活単元学習の各単元について各生徒の目標を設定した。

#### (2) 主体的、対話的で深い学びの視点による授業づくり、授業改善

設定した各児童生徒の目標が達成されるよう、主体的な学び、対話的な学び、深い学びの3つの視点から授業づくり、授業改善のアイデアを出し合い、検討した。

#### (3) 研究授業

全校授業研究会を各学部1回開いた。小学部は、低学年の特別学級の児童を対象とした音楽の授業を行い、盛岡みたけ支援学校二戸分教室の竹田友一郎教諭から助言をいただいた。中学部は、通常学級の生徒全員を対象とした生活単元学習の授業を行い、盛岡みたけ支援学校の中村直子指導教諭から助言をいただいた。

### 4 3年次研究のまとめ

メインテーマ「仲間と共に、今を主体的に学習するための授業づくり」の実現に向けて、3年間様々な視点からアプローチをしたことで、児童生徒や授業を様々な視点から見直すことができた。共通の視点をもって児童生徒や授業について話し合う機会をもったことにより、児童生徒の実態や目標、支援の手立て、授業のねらい等について共通理解することができた。結果として、児童生徒の主体的な学習へとつながったと思われる。

校内研究としての取り組みが終わった後も、各教員が研究で取り組んだ視点を忘れずに、授業づくりや授業改善を継続して行っていくことが課題である。

### 5 講演会

演題：「主体的、対話的で深い学びの視点での授業づくり：観点別学習状況の評価を中心に」

講師：秋田県立比内支援学校たかのす校  
教諭 進藤 拓歩 氏

期日：令和元年7月30日(火)

参加者：20名